臨床腫瘍学講座

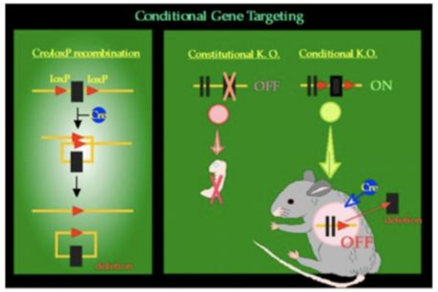
研究キーワード

進行がん、抗悪性腫瘍薬、発がん予防、医食同源

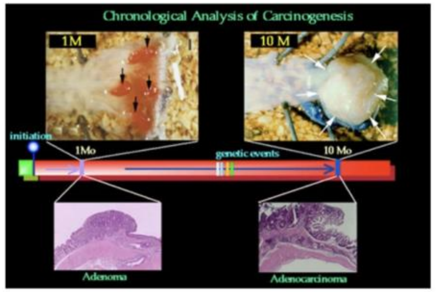
研究概要

テーマ1.「がん」の作り方
今や「がん」の設計図を手にした我々は遺伝子改変技術で「がん」を作り、解析できる。
テーマ2. What is your cancer?
「がん」の特徴を探る。その方法は分子生物学。これで「がん」の本態が見えてくるはず。
テーマ3. 「がん」を予防できるか？
毒物ではなく、毎日の食事で、「がん」を未病のうちに抑える。そこに免疫細胞の働きは？
「医食同源」の実現を目指す。

APC遺伝子を破壊すると、すぐに「がん」ができた！



APC (flox/flox)から大腸でCreを発現させて
強制的にAPC (-/-)へ。



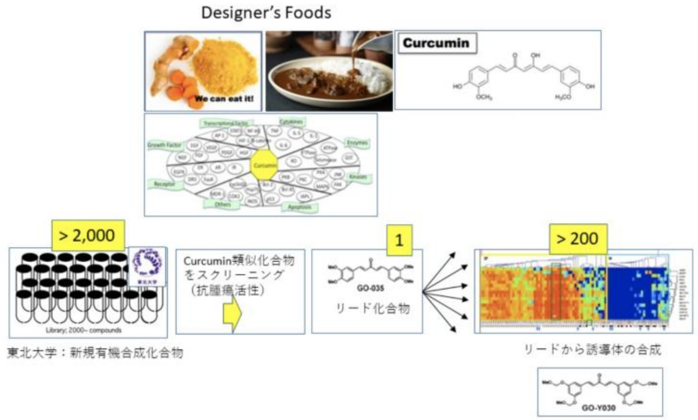
Science, vol. 278, 1997

APC遺伝子をマウスの直腸で壊す。
＞1ヶ月でポリープが、1年で大腸癌に育った。
（『ネズミの嫁入り』＝2ヶ月）。人はその10倍？

SA学生さんへのアピールポイント

2024年は医学生と秋田大学カレー（第１号）をクラファンで
作りました。研究成果の社会実装も目指してゆきます。

創薬コンセプト　低毒性でマルチターゲットな制癌剤の開発



※お問い合わせは、臨床腫瘍学講座 柴田浩行　まで
電話：018-884-6261　　E-mail：hiroyuki@med.akita-u.ac.jp